ベミデタッチ®

■種 類 名：グリセリン酢酸脂肪酸エステル乳剤
■有効成分：グリセリン酢酸脂肪酸エステル ---------- 80.0%

■登録番号：第23731号(石原産業登録)
■毒　　性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■登録初年：2015.11.11
■性　　状：淡黄色澄明可乳化油状液体
■有効年限：3年
■包　　装：500mℓ×10本
■危 険 物：第4類第4石油類、火気厳禁

【特長】

- コナジラミ類成虫の飛来、吸汁、交尾を阻害する行動制御剤。
- コナジラミ類による植物ウィルスの媒介も抑制する。
- 植物由来の食品添加物が有効成分で、有用生物への影響が少なく使用回数の制限もないため、IPM体系にも適している。

【適用内容】（2024 年 11 月末日現在）

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ｸﾞﾘｾﾘﾝ酢酸脂肪酸ｴｽﾃﾙを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	コナジラミ類 うどんこ病	500 倍	100～300 ﾘｯﾄﾙ/10ａ	収穫前日まで	―	散布	―
茶	チャノミドリヒメヨコバイ	500～1000 倍	200～400 ﾘｯﾄﾙ/10ａ	摘採 7 日前まで			

【効果・薬害等の注意】

- 本剤はコナジラミの成虫に対する忌避効果が主体の剤であり、他のステージに対する効果はないか劣るので、成虫の飛来前や発生初期に使用することが望ましい。
- トマト及びミニトマトに使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、以下のことに注意すること。
  - ◆ 軟弱徒長苗に対して連続散布すると薬害を生じるおそれがあるので、過度の連用はさけること。
  - ◆ 果実に対して、散布液がたまるような状態や、濃度が濃くなった場合には薬害を生じることがあるので、使用濃度を厳守し、薬剤の乾きやすい時に散布すること。葉に対しても、薬液の滞留部の一部にも薬害を生じることがあるので注意すること。
  - ◆ 果実の生育期間において、低温または高温による障害を受けた果実は、薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
  - ◆ 他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。特に TPN を含む農薬は、薬害を生じるので混用しないこと。
  - ◆ 混用によって薬害を生じる薬剤を散布する場合は、散布前後 7 日以上間隔をあけて使用すること。
- 展着剤を加用する必要はない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布器具の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
- ❖ 危険物第四類第四石油類に属するので火気には十分注意すること。
- ❖ 保管：火気や直射日光をさけ、低温な場所に密栓して保管すること。